

一 纏頭回

混血の
ア
リ
ナン
人
種

回教軍の
南路侵略

成吉思汗
の遠征と
波斯人

纏頭回は、元來黃白兩種の中間に居る人種にして、即ち阿富汗人、波斯人と同じく其祖先は「アリアン」人種とす。彼等の祖先は、遠く太古の世ベルシヤ灣附近チグリス河邊に蕃殖し、遂に大國を興したる波斯人の一部族とす。然らば彼等の祖先は如何にして此の新疆に來りたるものぞ。

西曆六百二三十年の頃、回教の宗祖マホメット、夙に宗教の勢を借りて、亞刺比亞を統一し、其の子弟は、遂に波斯を亡ぼして所謂大食國タジックを建てし以來、後嗣頻りに領土の擴張に勉め、進んで波斯の東北諸汗の領土を併呑するのみならず、遂には葱嶺を越えて、天山南路に侵入せり、當時南路には佛教徒たる蒙古族、漢族(部一)住居し在りし爲、二十餘年に亘る劇烈なる宗教戰を演じ、勝利は終に亞刺比亞軍に歸し、土人の壯者は多く陣歿し殘るは老人小兒と女子の大部のみ、從軍兵士たる波斯人は莎車龜茲等に留り、土人の女と結婚し遂に其の地に土着したる者即ち彼等が祖先なりとす。

絶代の英傑、成吉思汗の蒙古に起るや、一舉して天山南北路を征定し遠く波斯及